

# 風祝はかく語りき



嘲り笑う群集の中に飛び込み

狂<sup>ツラ</sup>氣<sup>ス</sup>の男<sup>トウ</sup>は叫<sup>ラ</sup>び謳<sup>ラ</sup>う

『神はどこへ行<sup>ツ</sup>ったのか？』

神は死<sup>シ</sup>んだのだ！我<sup>ワ</sup>々が殺<sup>コ</sup>したのだ！』

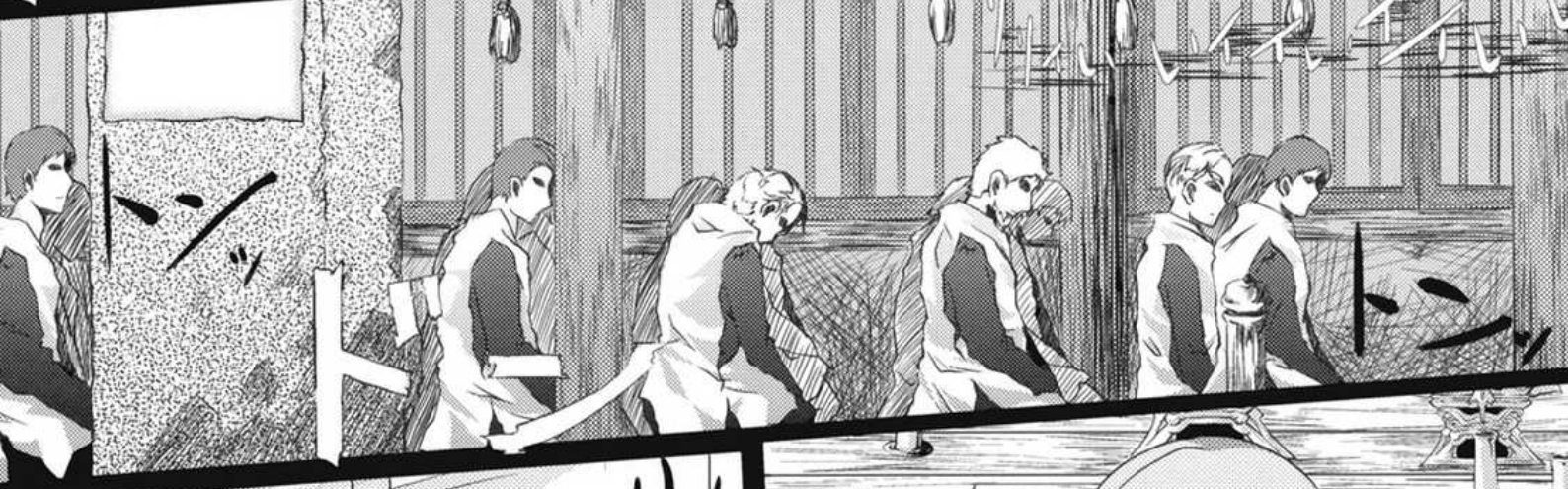
叫<sup>コ</sup>び訴<sup>ツ</sup>える彼の声は届<sup>ツ</sup>く事<sup>コト</sup>なく

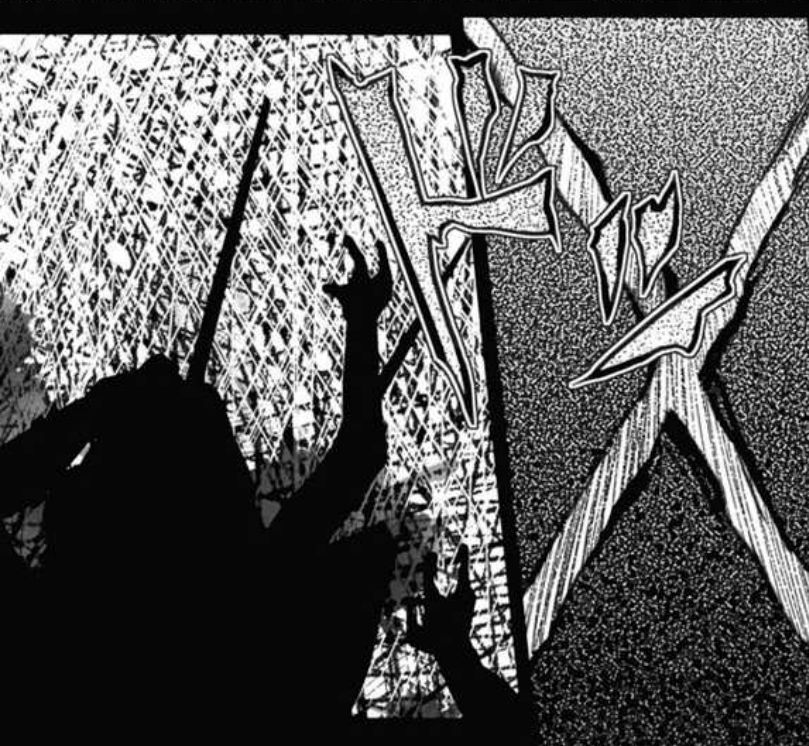
彼は教<sup>キョウ</sup>会<sup>カイ</sup>を巡<sup>メ</sup>り、神<sup>カミ</sup>へ鎮<sup>チン</sup>魂<sup>コン</sup>歌<sup>カ</sup>を捧<sup>テ</sup>げ回<sup>マ</sup>った

とある哲<sup>テ</sup>学<sup>ガク</sup>者<sup>シャ</sup>のとある本<sup>ホン</sup>のそん<sup>ソ</sup>な一<sup>イチ</sup>説<sup>セツ</sup>を、ど<sup>どこ</sup>か<sup>か</sup>で聞<sup>き</sup>いた

——私<sup>わたし</sup>はそ<sup>そ</sup>れ<sup>れ</sup>に、今<sup>いま</sup>はた<sup>た</sup>だ<sup>だ</sup>た<sup>た</sup>自<sup>じ</sup>分<sup>ぶん</sup>を重<sup>おも</sup>ね<sup>る</sup>事<sup>こと</sup>しか出<sup>で</sup>来<sup>来</sup>ず……。











続々続けた日々。

早っ苗くくく!!



それは次の物語が  
始まりを告げる時



その物語が  
終わる時

それは、

幻想に至る  
ひとつの  
終幕。







はい、教科書開いてー  
今日は162ページからだな



1571年……さて  
何があったか答えて

エー、昨日やったところは  
皆さん覚えてますかー？



ソレを教師は語る



教科書に記された歴史



刻まれた歴史



神様はいない



その歴史の中に



アー……もーマジ疲れたわー  
課題も多すぎだっつーの

んじゃ、マックでも寄ってこーよ  
一緒にやっちゃおーせー

あーいいね、いいこいこ  
どーせやんないだらうけどね

東風谷さんー？

あ、東風谷さんも  
一緒に行かない？

あ、そういえば  
東風谷さんサー

あつこ、ごめんなきい  
ちよっとポーっとしてて

は、はい!?



かわずがり……だっけ？  
よくわからないけど

ああ……  
あれはですね

お正月にさ  
神社行ってきたよ  
なんかやってたよねー



諏訪大明神絵詞とかに  
記されている諏訪平定で、

建御名方神が諏訪地方の  
土着神だった洩矢神を平らげた  
という逸話からきていて

洩矢神は蛙の神様と言われていてますから  
それで諏訪大神に蛙を供物として捧げて  
その年の吉兆を占って頂く神事なんです



元旦の……



あと蛙狩神事については  
元朝の赤蛙という諏訪の七不思議の  
ひとつに数えられている逸話があって



え……と……



あ……



ヨ、ヨメシナサイ

あ、その……



カッパッパッ



私……えっと……

あの……気にしないで

ま、また明日

70

70

カッパッパッ



ちよつと変わってるよねえ  
東風谷さんって

神社のえらい人なんだよね  
ああ見えても

本当に神様とか  
信じてるのかなー？

えーまさか……



この年になってまだ  
ソレって事はないんじゃない？

一才才才



わかってた事だ……

今更思い知るまでもなく

ゴ  
ブ  
オ  
オ  
オ



頼るべきは文明の力

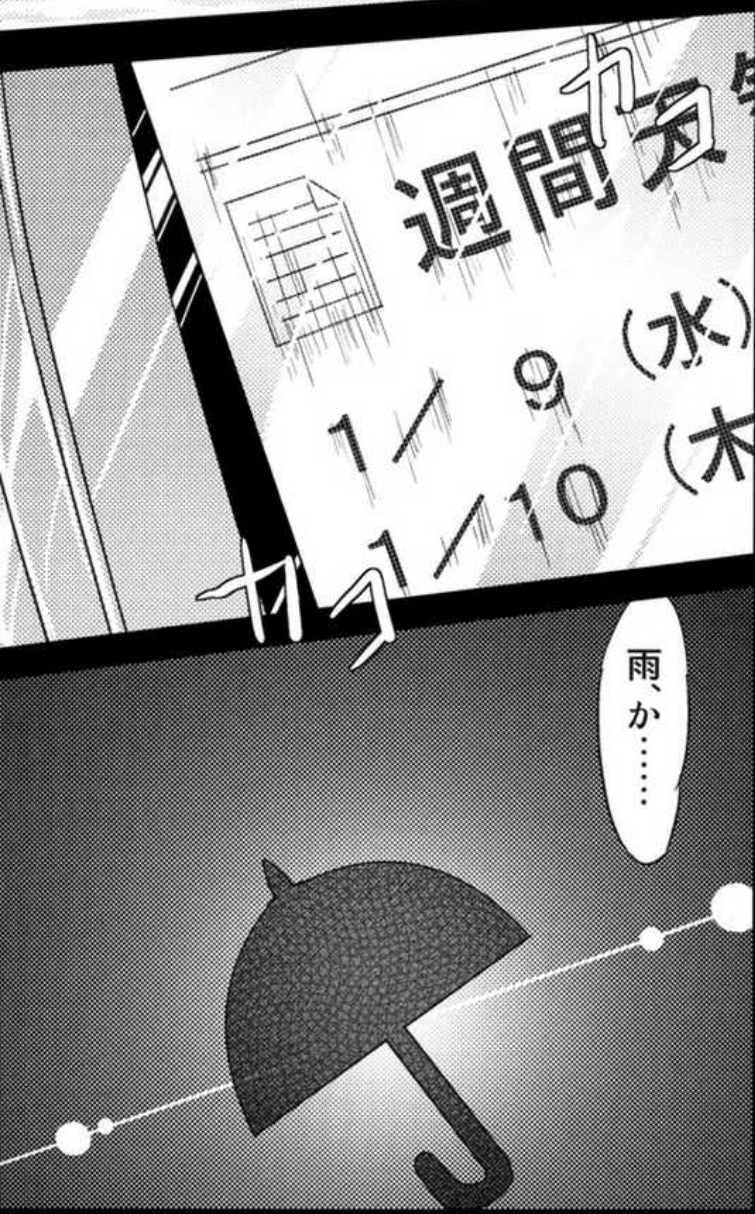
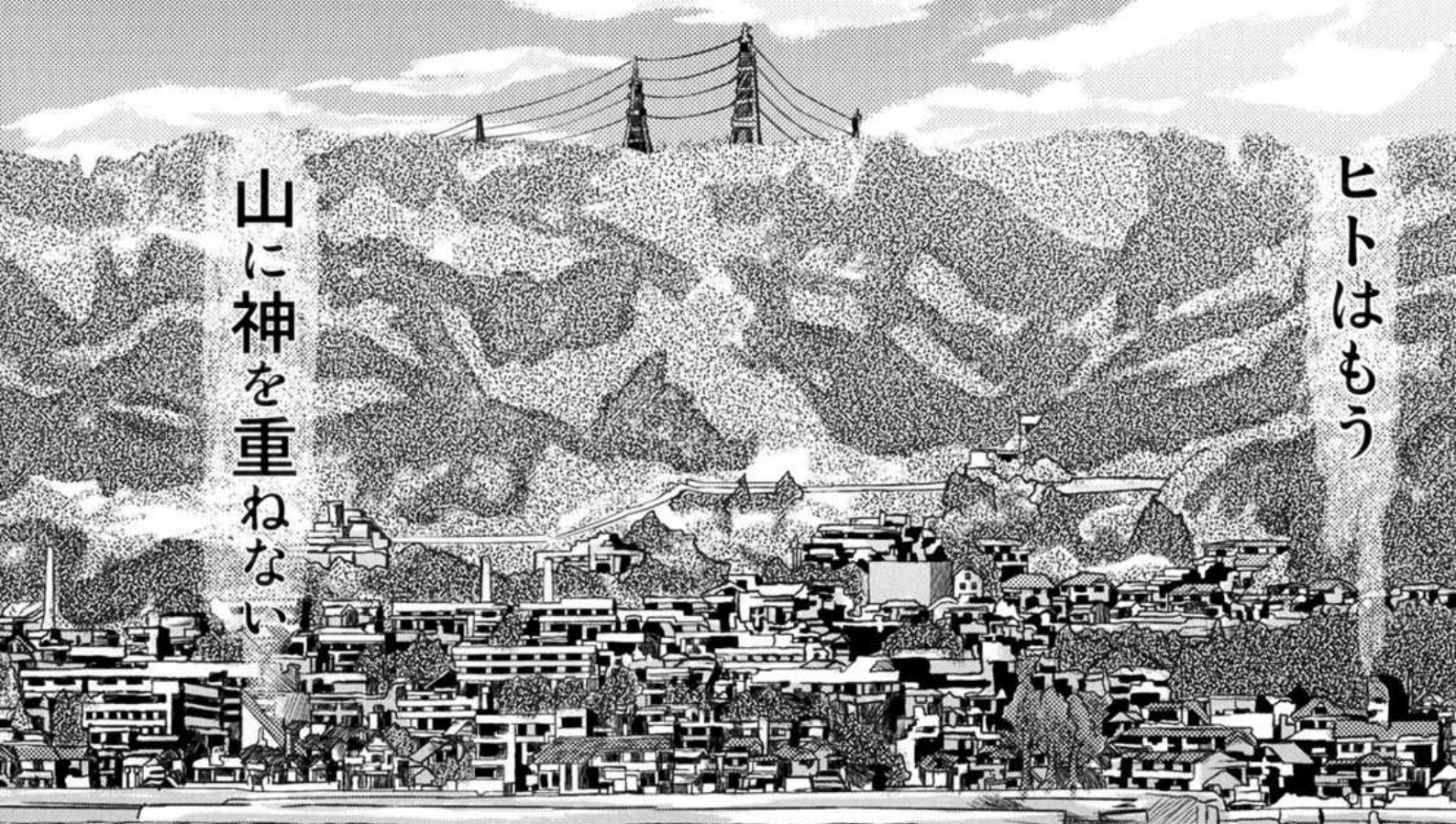
信じるべきも然り

それを裏付ける繁栄の歴史



ヒトはもう

山に神を重ねない









ほら、見てごらんなさい  
早苗……

夕陽で紅く染まって……  
とても綺麗だわ



そう？

私は……



本当ですね……



それもまた  
いいと思うわ



でも

ビルとかがちよっと  
邪魔かなとも思いますけど



この地の人々の

営みの豊かさの  
証みたいなものだからね



そういうものよ



そういう……  
ものですか……



明日もいい天気になりそうね



ふむ……  
この分だと……



明日の

天気は



明日は何曜日か  
余計に朝は遅いかな



あつ……  
いえ、その……

何でも……  
ないですからっ

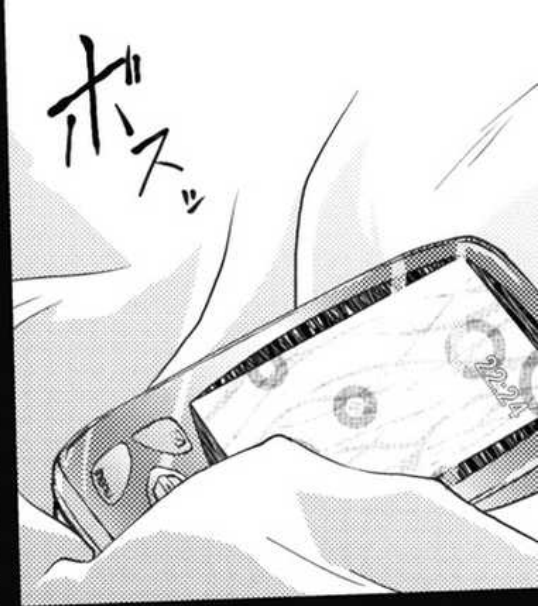


雨とかなるじょう











も、洩矢様!



で、でも……!  
八坂様は……



ハズレだよ  
神奈子の  
天気占いは



……うん  
神奈子は——風神だ

風雨を司る風神の  
神奈子なら



明日の天気を知る事  
なんてわけもない事だ……

本来なら、ね



それは……

どういう意味、ですか？



それ程までに  
神奈子は力を失っている



そんな……  
どうしてですか!?



グイッ

……わかりやすく  
言ってしまうえばね







信仰によって力を得る

私達神は



そんな  
何を……言……



そもそも、私達は存在自体が

信仰心の塊みたいな  
モノなんだよね



そしてその力は  
更なる信仰を集める……



それはもう単純に  
私達の存在自体が欠けて  
いく事と等しい事なんだ



……だけど今はそれが  
どんどん失われている



まあ、それで今ちゃんと  
やっていけてるんだしね



人はもう、自然を  
畏れ崇める事もない



私たちに頼るよりも  
余程いい暮らしをさ……

自分たちの力を……科学を  
崇拜しているんだから



っていつでも……

早苗より先に死んじゃう  
と思うけどね……



まあそれでも  
私は神奈子程は  
深刻じゃないけどね



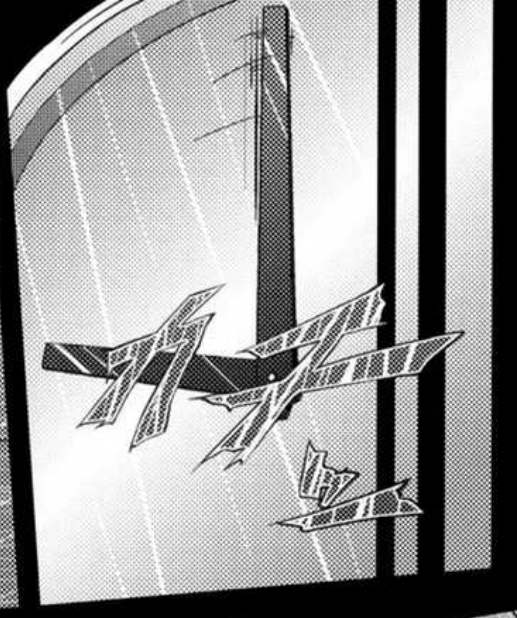
崇りつてのは

純粋な信仰に比べたら  
まだ残っているからね



さっさと席着け

おーい、出欠取るぞー



唐澤ー

はい

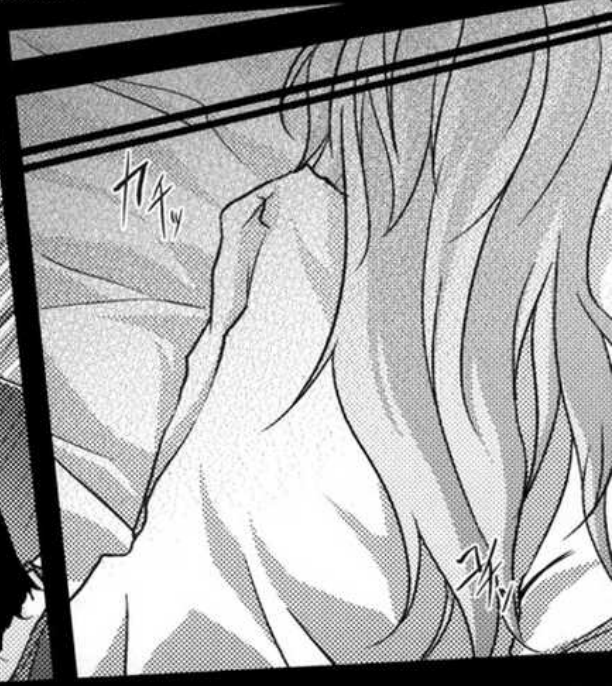
久保田ー

はい

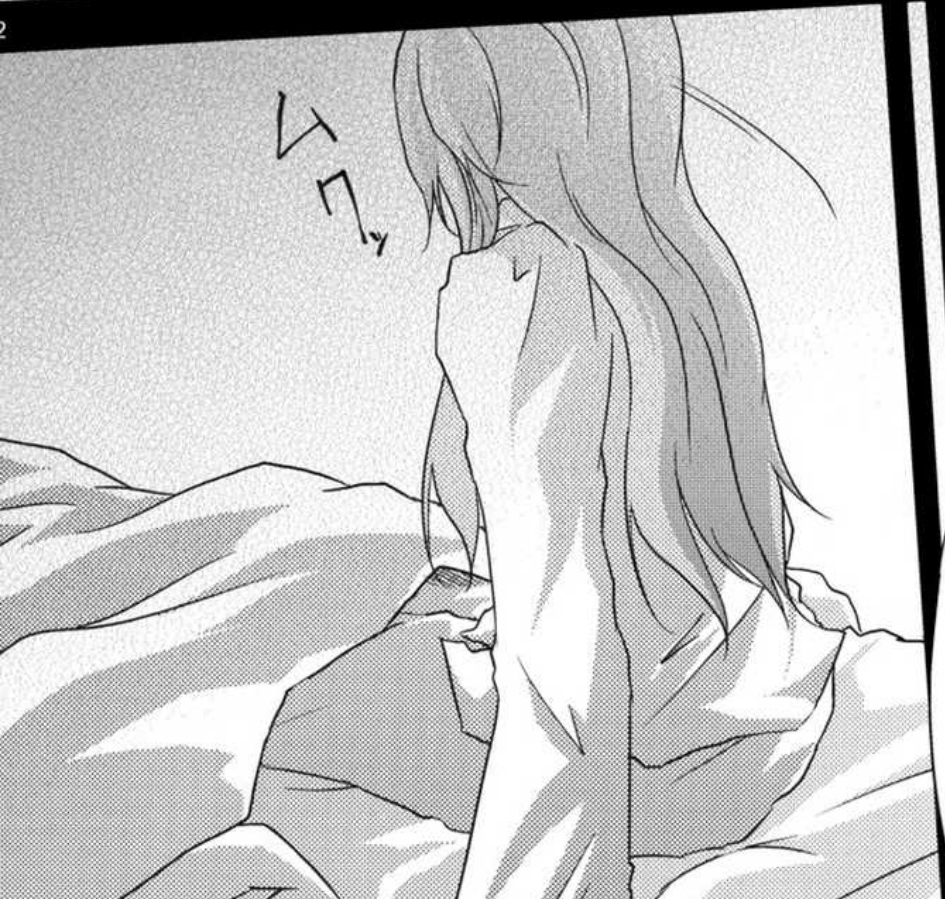
蔵持ー

はい

東風谷ー



カキッ



ム  
フッ



ん？



なんだ、来てないのか？

真面目なアイツが何も連絡もなしなんて珍しいな



……何も、ないんだよ



も、洩矢様っ！  
何か……  
何か私に、出来る事は  
ないんですか!?



だから私に……  
話してくれたたんじゃ  
ないんですか……っ!?









もう……天気を知る程度の能力までも、失っていると



……聞きました



本当……なんですね  
力を、失っていること……  
……それと



……そう  
聞かされたのね

全く……  
諏訪子の奴……





ずっと……!!

ああ、本当に



私はっ!!  
八坂様と、洩矢様に……



ごめんね  
早苗



諏訪子の奴め……



大切な……  
貴方だから……

この子の涙は  
見たくなかったのに



貴方には……  
知られたくなかったのよ



ただ、神とそれに仕える  
人間として振舞っていた

私もわかってなかった

嗚呼、だけど……



それなのにこの子は

この子が幼い頃からずっと……



全く……ダメね  
私は……

そんな事に  
今更気付くだなんて



こんな風に、純粋に慕ってくれてもいた

す、すみません……  
八坂様……





落ち着いた？

あす、すみません  
……大丈夫です

ううん  
気にしないでいいわ



こうなってしまった事も

仕方ないと  
思ってるのよ



……私はね



私は、この地の  
神だから……





ただそれだけで  
全て良いと思うのよ

この地の人々が幸せに  
生きていけるのならば

この地が栄えていくのならば



そんな事……  
言わないで下さい



そこに神はもう不要ならば  
それもまたいいと思うの



お二人はずっと、ずっと……  
この地の為に、人々のために！

それなのに……!!



私は……神として  
その役割を全うして


愛するこの地で眠る  
……それでいいのよ

毎日の様に宴を開いて

人と、人に在らざる者達と  
盃を交わして

毎日騒いで、歌って、遊んで





そんな風に生きるのも  
悪くないと思うわ

その世界の者達の神として  
もう一度生きる事が出来るなら



ねえ、早苗……  
例えばよ



幻想に成り果ててしまった  
古の夢達の住む世界があったなら

私達のように  
忘れ去られた者達が……



もしも……  
この世界のどこかに



幻想達が

もしも……そんな世界が  
どこかにあるのならば……

でも、そんな矛盾だらけの  
異質な世界は、この世界を……

八坂様っ!!

おまじない

もしも、そんな世界が  
あるなら、私はっ

どこまでも、ついて行きます  
どこへでも、一緒に行きます

いつまでも……  
いつまでも……

死ぬまで私は、  
お二人に仕えます

……ありがとう

そんな世界があれば

もう

その時は……

この子にこんな涙を  
流させずに済むのかもしれない

三人揃って……ね

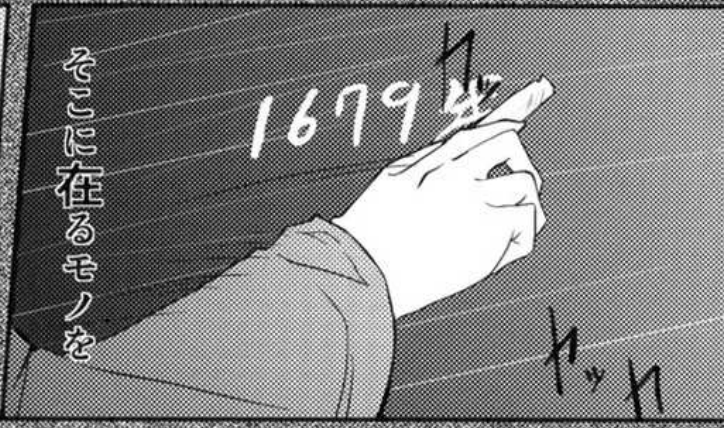
人はもう、神様を知りもしない



何の感情も向けられない



不要になったモノには



そこに在るモノを



ただ享受するだけの人々



カミサマハ……



道具ト変ワラナイモノダツタ?



神様ハ何ダツタンデスカ?

帰ります

すみません、先生

どうした？  
東風谷

神様はいない。

もう、人々の心の中には……だから

神様はもう、死んでしまうのだ。



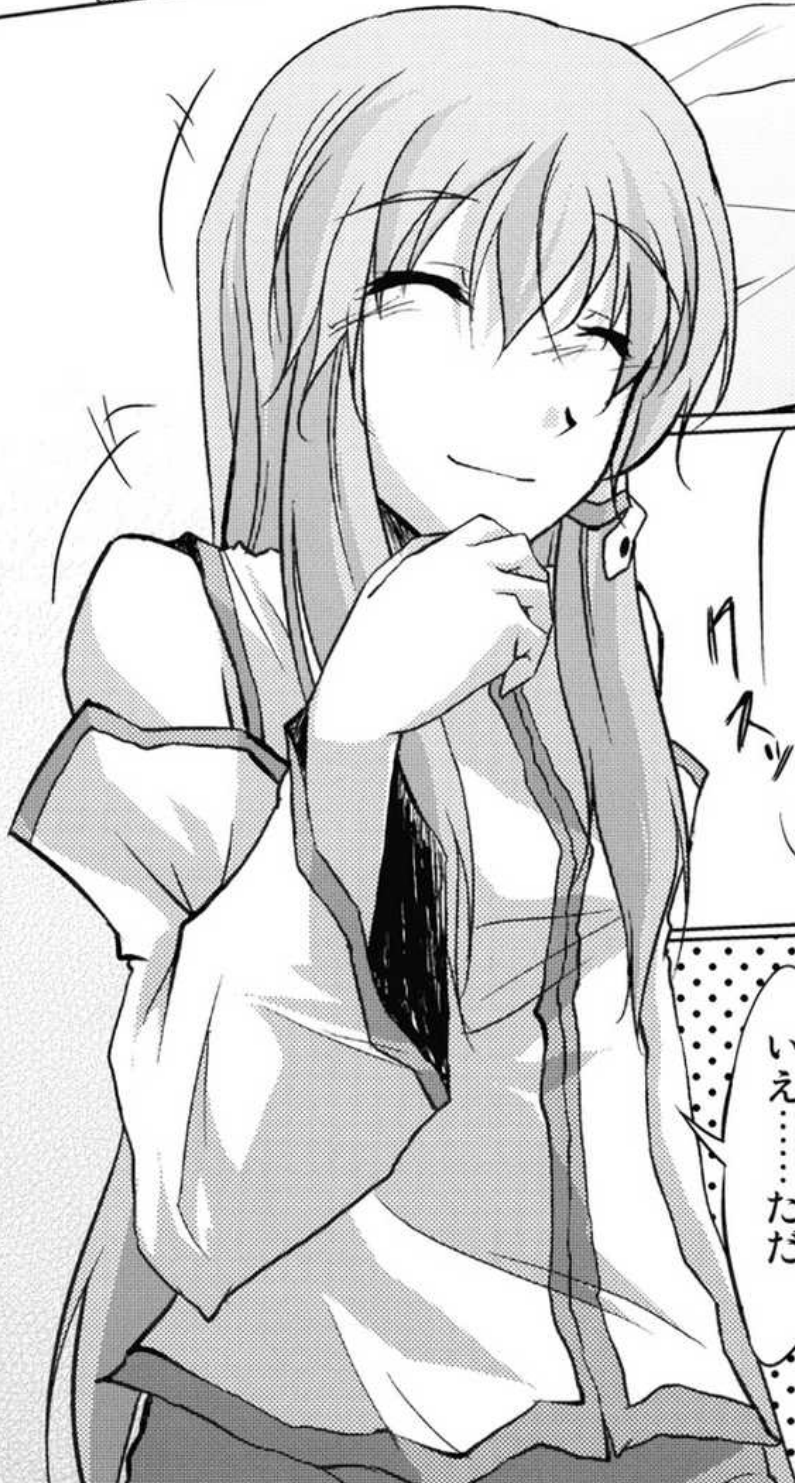




あーっ!  
神奈子、それ  
私の大福!



別にいいじゃない  
まだ残ってるんだし



言ってくれば……



いいけどさ……



いえ……ただ

むー……何さ  
早苗までー



こんな世界が

本当にあって良かったな……って  
改めて思っただけです、諏訪子様



数日後に移住計画だ  
なんて言い出すんですもん

さすがに少し驚きました



だって神奈子様

幻想郷みたいな世界はない  
って否定していたのに



ふえ？



あはは  
神奈子ってば  
恥ずかしがってるの？

うるさいわよ、馬鹿蛙



ん……いや  
早苗、その話はもう  
いいでしょう？



それでは私は  
宴の準備をしてきますね

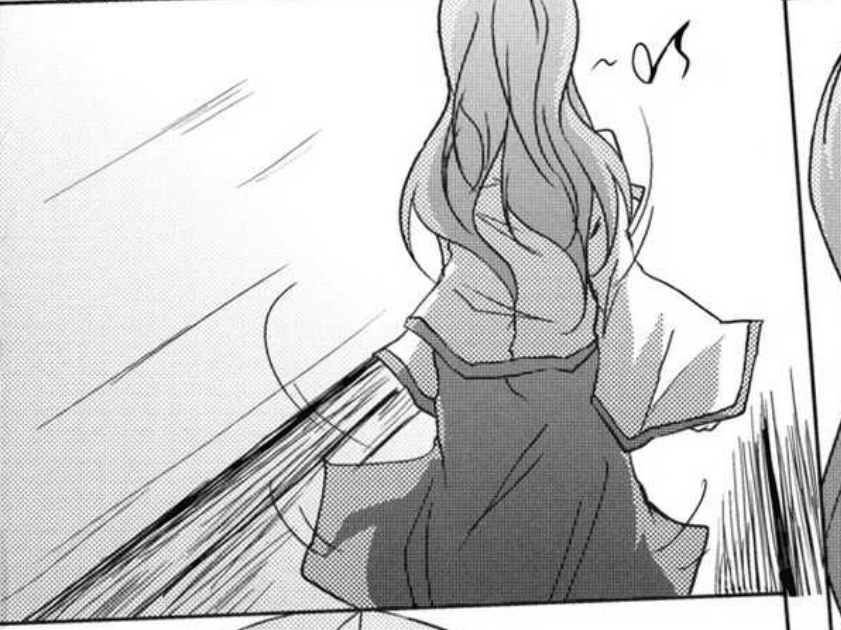


ん、何か  
手伝おうか？



何をー！  
蛙馬鹿にするなー！！

馬鹿だから馬鹿  
って言ってるだけよ！



~03



いえ、特に大変な事もないですから  
お二人はゆっくりしててください



よかったね  
神奈子

ん？



にん

早苗、すごくいい笑顔  
見せてくれるようになってさ



んん



……そうね



本当だね



いい天気だね、諏訪子



明日も、晴れるかな？  
神奈子



今日も相変わらず  
気持ちのいい日だ



……そっか



きっと……  
明日もずっと、いい天気だよ



神奈子が言うなら

間違いないね

## 夕暮れ時

赤く染まる神社の境内で

教会で神へ鎮魂歌を歌う代わりに

この<sup>デイス</sup>世界<sup>トピア</sup>に『サヨナラ』を

それは、理想郷への祈りにも似ていた





さて、ここまでお付き合い頂きありがとうございます。天乃ちはるです。  
今回のこの本のネタは、友人原案だったりします。  
ついでにシナリオ原案やっちゃえばいんじゃないかね？とか  
そんな流れで原案描いて貰ったりしました。  
最終的にかなり自分色に染めてしまいましたけど……っ！！

この本描いていて洩矢一家超大好きになりました  
神奈子株が急上昇しすぎです。諏訪大社行ってきてよかった！！

それではまたいつか！！

2009/4/26 GAULOISES BluE 天乃ちはる

<http://gblue.seesaa.net/>

原案:羽村うさぎさん

印刷:ねこのしっぽ様

※この本は上海アリス幻楽団様の東方Projectの二次創作作品です

